

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	274	B.3	表 B.2	ge	偏光依存性損失の測定光源は、無偏光光源では測定できないので、不適切。	偏光光源に修正する。 本文に注記で修正理由を記載し、解説にもその旨を記載。さらに IEC に修正を提案すると良い。	「無偏光」を「全偏光」に修正します。 本文に修正理由を注で記載し、解説にもその旨を記載します。さらに IEC に修正を提案します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	全体			ge	IDT で作成しているが、図 1～図 5 に側線が付与されている。	側線が付与されているが、IDT である旨を説明願います。本文にその旨を記載する必要ありません。解説に記載してあれば問題ありません。	図 2～図 5 の側線を削除します。図 1 については、解説に「側線が付与されているが、他の図と整合させるための修正であり、IDT である」旨の説明を追加します。
渋谷隆 2	81	2		ed	IEC 61754-6 に相当する JIS C 5964-6 がある。	JIS C 5964-6 を記載し、対応国際規格における引用規格として IEC 61754-6 を記載する。	引用規格の「IEC 61754-6」を「JIS C 5964-6」に変更し、注記も変更します。
石井 1	117 123 129 141		図 2 図 3 図 4 図 5		図 2、図 3、図 4 の題目について注釈 “b)” は何を示しているのでしょうか。 同じく図 5 の “a)” は何を示しているのでしょうか。		b) に関しては、各図の次にある表の「注 b)」を示しています。図に対応する部分ではなく、一般的な注となっていますので、図題に b) を表示しています。 また、a) に関しても、各図の次にある表の「注 a)」を示しています。図中の斜線のエリアが該当部分で、矢印で示さなくても読者は理解できると考え、図題に a) を表示しています。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	全体			ge	IDT で作成しているが、図 1～図 5 に側線が付与されている。	側線が付与されているが、IDT である旨を説明願います。本文にその旨を記載する必要ありません。解説に記載してあれば問題ありません。	図 1～図 5 の側線を削除します。
渋谷隆 2	81	2		ed	IEC 61754-6 に相当する JIS C 5964-6 がある。	JIS C 5964-6 を記載し、対応国際規格における引用規格として IEC 61754-6 を記載する。	引用規格の「IEC 61754-6」を「JIS C 5964-6」に変更し、注記も変更します。
石井 1	118 124 130 142		図 2 図 3 図 4 図 5		図 2、図 3、図 4 の題目についている注釈 “b)” は何を示しているのでしょうか。 同じく図 5 の “a)” は何を示しているのでしょうか。		b) に関しては図に対応する部分はなく、一般的な注となっていますので、図題に b) を表示しています。 また、a) に関しても図中の斜線のエリアが該当部分で、矢印で示さなくても読者は理解できると考え、図題に a) を表示しています。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2024-08-27	規格番号: C61280-4-2	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	100	1		ed	IEC 60793-2-50 に相当する JIS は JISC6835 である。JIS を引用しない理由は、IEC 60793-2-50 に規定するすべてを JISC6835 では網羅していないからか。	注記で、JISC6835 があることを追記する。	箇条 2 (引用規格) の IEC 60793-2-50 の注記に記載しております。 また、参考文献にも IEC 60793-2-50 を記載しておりますが、削除します。
渋谷隆 2	102	1		ed	WDM は、WWDM, CWDM, DWDM を含んでいる。JISC5925-1 に規定されている。	“WWDM, CWDM 及び DWDM “に変更する。	原文は「such as WDMs, CWDM and DWDM devices」であり、「WDMs」は CWDM、DWDM を含む広い概念と考えられます。 「CWDM 及び DWDM に代表される WDM 装置のような」に変更します。
渋谷隆 3	102	1		ed	受動波長選択コンポーネント JISC5925-1 の用語に合わせる。	“波長選択性のない光ブランディングデバイス “又は、” WDM デバイス “に変更する。	「受動波長選択コンポーネント」を「波長選択性のある光受動部品」に変更します。
渋谷隆 4	132	2		ge	注記 JISC6803 は、IEC60825-2 に対し、IDT で作成されている。	どの部分が技術的に異なるのか説明が必要。	「IEC60825-2」を「JISC6803」に変更し、注記も変更します。
渋谷隆 5	147	3.1		ed	光アダプタは、JISC5962 に定義がある。	JISC5962 の定義に合わせる。	JISC5962 (プラグ 2 本が前提) とニュアンスが異なるようなので、原稿のままとします。
					追加コメント: 規格に対し、“ニュアンスが異なる” の表現は不適切です。 JISC5962 は、光アダプタは 2 つのプラグを接続する部品と定義しています。他に光レセプタクルの定義があります。一方、この JIS 案では、		JISC5962 は、光アダプタは 2 つのプラグを接続する部品と定義しています。他に光レセプタクルの定義があります。一方、この JIS

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					JISC5962 で定義する光アダプタの他に、光レセプタクル、光ソケット（光レセプタクルと同義）を用いているため、変更しなくても問題ありません。		案では、JISC5962 で定義する光アダプタの他に、光レセプタクル、光ソケット（光レセプタクルと同義）を用いているため、変更しなくても問題ありませんので、原稿のままとします。
山田 1	178	3.1.7		ED	「ORL」が変数ならイタリックに変更が必要であると考えます。		ORL は頭字語なので変数と扱わずに現状維持が適切と思われる。 IEC 原文でもイタリックになっておりませんので、原稿のままとします。
渋谷 隆 6	198	3.1.11		ed	RTM に対照する用語として代替測定法（ATM）がある。	注記で ATM があることを追記する。	箇条 3 に ATM の定義がなく、4.2 で「代替測定法」が出てきますが、ここは原稿のままとします。 ただし、RTM の説明「論争の解決に用いる試験方式」は直訳すぎるので、「厳密で正確な試験方法」に変更します。
					追加コメント：RTM の定義を変更する必要はありません。 RTM の用語及び定義の注釈として、“注釈 1 RTM の対照となる用語に代替測定法 [ATM (alternative test method)] がある。4.2 参照。”を追記してください。 “注釈 2 RTM は、最も測定不確かさが小さい測定法とすることが一般的である。”		RTM の用語及び定義の注釈として、 “注釈 1 RTM の対照となる用語に代替測定法 [ATM (alternative test method)] がある。4.2 参照。” 及び “注釈 2 RTM は、最も測定不確かさが小さい測定法

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2024-08-27	規格番号: C61280-4-2	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							とすることが一般的である。” を追記します。
山田 2	206, 207	3.1.12		ED	「RL」が変数ならイタリックに変更が必要である と考える。		RL は頭字語なので変数と 扱わずに現状維持が適切と 思われます。 IEC 原文でもイタリックに なっておりませんので、原 稿のままとします。
渋谷 隆 7	277	4.1		ed	光源の略語 LS が漏れている	光源 (LS) に修正する。	「光源」を、「光源 (LS)」に変更します。
渋谷 隆 8	350	4.2.1	表 2	ed	“*”が二つある。	ISO/IEC Directives Part 2 に合わせ、a, b などとす る。	注 a)、注 b)に変更しま す。
渋谷 隆 9	449	5.3		ed	同じ形式ではあいまいである。同一のかん合標準 なのか、IEC 60793-2-50 に規定する B ファイバ の分類なのかがわからない。	より具体的に記載する。	限定できる情報が無く、 IDT なので、原稿のままと します。
					追加コメント：ここでは、光ファイバの分類を指 していると考えられる。	“光ファイバと IEC 60793-2-50 で規定する B カ テゴリで、同じ分類でなければならない。”に修 正する。 さらに、IEC SC86C/WG1 国内委員に情報を提供 し、例えば、COR1 又は AMD1 の作成を提案する ことが望ましい。	“受信コード又は出射側コ ード内の光ファイバは、被 試験ケーブル配線内の光フ ァイバと IEC 60793-2-50 で規定する B カテゴリと で、同じ分類でなければな らない。”に変更します。
山田 3	795 812 1250 1263 1270 1287	D.4.3 D.4.4 H.1 H.4 H.5	☒ D.3 ☒ D.4 ☒ H.1 ☒ H.2 ☒ H.3 ☒ H.5	ED	「A」が変数ならイタリックに変更が必要である と考える。		ご指摘どおりです。「A」 をイタリック体に変更しま す。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 4	824 974 987 1033	D.5 E.3.3 F.1 F.3.3	式 F.1 式 F.2	ED	「ORL」が変数ならイタリックに変更が必要である と考える。		ORL は頭字語なので変数と 扱わずに現状維持が適切と 思われます。 IEC 原文でもイタリックに なっておりませんので、原 稿のままとします。
山田 5	834	D.6		ED	「H _n , H ₁ , H ₂ 」が変数ならイタリックに変更が必 要であると考えます。		ご指摘どおりです。 「H _n 」、「H ₁ 」及び 「H ₂ 」をイタリック体に変 更します。
渋谷 隆 10	903	E.2.3		ed	“指向性”とは何か？ JISC5900 にディレクティブティの定義がある。	ディレクティブティに修正し、注記で JISC5900 に定義されていると追記する。	「指向性」を「ディレクテ ィビティ」に変更し、 「(JIS C 5900 参照)」を 追記します。
渋谷 隆 11	914	E.2.5		ed	“反射率の大きさは、測定される最大光反射減衰 量の大きさよりも少なくとも 10 dB 大きいこと が望ましい。” 反射率は大きいほど反射減衰量は小さい。 正負が紛らわしい。	反射率を反射減衰量に修正する。	「反射率」を「反射減衰 量」に変更します。
					追加コメント：反射減衰量（単位 dB）は正の数 値であり、大きいことが望ましい。反射率は、例 えば、0.01 %などで表す。 さらに、“少なくとも（英語の at least）”の表 現がわかりづらい。以上、以下、未満、超を使う 方がすんなり理解できる。	“RLTS のコネクタ接続は、非常に低反射でなけ ればならない。光コネクタ接続の反射減衰量は安 定している必要があり、RTTS のコネクタの反射 減衰量は、被試験ケーブル配線の最大光反射減衰 量よりも 10 dB 以上大きいことが望ましい。” に修正する。	「反射率」を「反射減衰 量」に変更するとともに、 文全体を次のように変更し ます。 “RLTS のコネクタ接続 は、非常に低反射でなけれ ばならないので、光コネク タ接続の反射減衰量は安定 している必要があり、 RLTS のコネクタの反射減 衰量は、被試験ケーブル配

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2024-08-27	規格番号: C61280-4-2	プロジェクト:
----------------	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							線の最大光反射減衰量よりも 10 dB 以上大きいことが望ましい。”
渋谷 隆 12	927	E.2.6		ed	“この終端は、測定される最大光反射減衰量の大きさよりも少なくとも 20 dB 大きい反射率をもつことが望ましい。” 正負が紛らわしい。	大きい反射率をもつことが望ましい。 を反射減衰量に変更する。	「反射率」を「反射減衰量」に変更します。
					追加コメント：追加コメント：反射減衰量（単位 dB）は正の数値であり、大きいことが望ましい。反射率は、例えば、0.01 %などで表す。 さらに、“少なくとも（英語の at least）”の表現がわかりづらい。以上、以下、未満、超を使う方がすんなり理解できる。	“この終端の反射減衰量は、被試験ケーブルの最大光反射減衰量よりも 20 dB 以上大きいことが望ましい。”に修正する。	「反射率」を「反射減衰量」に変更するとともに、文全体を次のように変更します。 “この終端の反射減衰量は、被試験ケーブルの最大光反射減衰量よりも 20 dB 以上大きいことが望ましい。”
山田 6	1147 1152	G2.5 G2.6	表 G.2 表 G.3	ED	「k」が変数ならイタリックに変更が必要である と考える。		ご指摘どおりです。「k」をイタリック体に変更します。また、大文字と小文字が混ざっているので（原文も同様）、小文字に統一します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2024-08-27	規格番号: C61300-2-18	プロジェクト:
----------------	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	187	参考文献		ed	174 行に IEC 61753 規格群が引用されている。	参考文献に IEC 61753 (all parts)を追加する。	参考文献に、IEC 61753 (all parts)を追加します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。